

令和4年度 第1学年 授業改善推進プラン

	伸ばしたい力(児童の実態、学習状況、指導の実態より)	改善プラン(課題の改善プラン、具体的手立て)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ひらがなやカタカナの確実な定着。 拗音、促音、格助詞の確実な定着。 文章を正しく読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> 読み書きの基本となる文字を正しく覚え、しっかりと定着するように、授業や家庭学習で繰り返し練習する。 日頃の授業の中で文章を書く経験をさせ、正しい使い方を意識させる。プリントを用意し拗音、促音の読みの練習を繰り返し行う。 説明文の読解では、問いの文を全体で確認してから考えるようにする。
算数	<ul style="list-style-type: none"> たし算とひき算の意味理解。 正しく素早く計算する。 文章問題を自力で読み、解決する。 	<ul style="list-style-type: none"> 加法・減法の計算が確実にできるよう、プリントや家庭学習で繰り返し計算練習に取り組ませる。 授業の始めにフラッシュカードなどで練習を繰り返すようにする。 デジタル教科書で場面をイメージして問題に答えられるようにする。 個別に算数ブロックなどの具体物を使ってイメージできるよう繰り返し指導をする。 「東京ベーシック・ドリル」や習熟プリントを活用し、繰り返し取り組むことで確実に理解できるようにする。
生活	<ul style="list-style-type: none"> 活動を通して気付いたことを、わかりやすく文にしたり絵に描いたりして伝える。 自ら深く探求しようしたり、工夫したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 気付いたことを共有できるように教師側から提示する。 活動を繰り返し行う中で、よい工夫をしている場面を紹介し、価値づける。 ICTを活用してより主体的に活動できるように工夫する。 予想や気付きを話したり書いたりして考えを深められるようにする。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 楽しくリズム遊びをすることができる。 豊かに身体表現する。 リズムを正しくとる。 鍵盤ハーモニカの指遣いの習得。 	<ul style="list-style-type: none"> リズム打ちや、身体表現を通してリズム感を十分身に付ける。 様々な音楽教材に触れ、耳や目を通して音楽に親しむ場面を増やしたり、身体表現を通して、音楽で表現する楽しさを味わったりする。 新しく学習する楽曲については、毎回音と鍵盤の場所と指とを対応させながら曲を演奏できるように黒板に示す。また、個別に検定などを取り入れて評価や個別指導を行うようにする。
図工	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧に製作活動に取り組む。 じっくり工夫したり、更に付け足しを考えたりしてより良くしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧に取り組んでいる児童の作品を鑑賞し、良いところを見つけ合う。 工夫の仕方について教師側から提案したり、向上心をもって工夫を考えて取り組んでいる児童を紹介したりして、更に良い作品にするための視点を与えていく。
体育	<ul style="list-style-type: none"> 集合や整列など、集団行動の基本を身に付ける。 体力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の最初と最後に整列し、素早い行動を身に付ける。 日常の遊びを充実させ、体力づくりをする。 活動の時間を多くとり入れ、体力アップにつながるようにする。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 授業の内容を自分事として捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な場面と学習したテーマを結び付けて、考える場面を増やす。 授業の中で自分の意見をワークシートに書いたり、意見を共有したりする時間を設定する。